

審　査　の　結　果　の　要　旨

氏　名　　高　取　拓　史

本研究は、外来患者の受療行動の一端を明らかにするため、我が国の中規模病院における医療設備や医療スタッフ数の変化と内科系及び外科系外来患者数の変化の関連について重回帰分析を用いて検討したものであり、下記の結果を得ている。

1. 1996年から1999年の外来患者数増減に関する分析の結果

(a) 内科系外来患者を対象にした分析の結果

重回帰分析の結果、有意になった変数は、人工腎臓（透析）装置増減台数（偏回帰係数 $\beta = 0.47$ 、 $p < 0.01$ ）、SPECT 増減台数（ $\beta = 5.50$ 、 $p < 0.05$ ）、医師増減人数（ $\beta = 0.82$ 、 $p < 0.01$ ）、看護師増減人数（ $\beta = 0.64$ 、 $p < 0.01$ ）、病床数（ $\beta = 0.02$ 、 $p < 0.05$ ）、国公立病院（ $\beta = -15.53$ 、 $p < 0.01$ ）、人口密度の変化（ $\beta = 0.14$ 、 $p < 0.01$ ）であった（調整済み決定係数 = 0.09）。有意になった変数の中で、人工腎臓（透析）装置増減台数、SPECT 増減台数、医師増減人数、看護師増減人数、病床数、人口密度の変化の偏回帰係数は正であり、これらの増加が内科系外来患者数の増加と関連していた。一方、国公立病院の偏回帰係数は負であった。

(b) 外科系外来患者を対象にした分析の結果

有意になった変数は、MRI 増減台数（ $\beta = 15.01$ 、 $p < 0.01$ ）、医師増減人数（ $\beta = 1.49$ 、 $p < 0.01$ ）、看護師増減人数（ $\beta = 1.07$ 、 $p < 0.01$ ）、病床数（ $\beta = 0.03$ 、 $p < 0.05$ ）、国公立病院（ $\beta = -25.61$ 、 $p < 0.01$ ）、公的病院（ $\beta = -9.25$ 、 $p < 0.01$ ）、人口密度の変化（ $\beta = 0.34$ 、 $p < 0.01$ ）であった（調整済み決定係数 = 0.17）。有意になった変数の中で、MRI 増減台数、医師増減人数、看護師増減人数、病床数、人口密度の変化の偏回帰係数は正であり、これらの増加が外科系外来患者数の増加と関連していた。一方、国公立病院、

公的病院の偏回帰係数は負であった。

2. 1999年から2002年の外来患者数増減に関する分析の結果

(a) 内科系外来患者を対象にした分析の結果

重回帰分析の結果、有意になった変数は、X線CT増減台数 ($\beta = 5.80$ 、 $p < 0.01$)、医師増減人数 ($\beta = 2.03$ 、 $p < 0.01$)、看護師増減人数 ($\beta = 0.23$ 、 $p < 0.01$)、病床数 ($\beta = -0.03$ 、 $p < 0.01$)、国公立病院 ($\beta = -9.10$ 、 $p < 0.01$)、公的病院 ($\beta = -8.66$ 、 $p < 0.01$)、人口密度の変化 ($\beta = -0.05$ 、 $p < 0.05$)、65歳以上人口割合の変化 ($\beta = -6.89$ 、 $p < 0.01$) であった（調整済み決定係数 = 0.07）。有意になった変数の中で、X線CT増減台数、医師増減人数、看護師増減人数の偏回帰係数は正であり、これらの増加が内科系外来患者数の増加と関連していた。一方、病床数、国公立病院、公的病院、人口密度の変化、65歳以上人口割合の変化の偏回帰係数は負であった。

(b) 外科系外来患者を対象にした分析の結果

有意になった変数は、MRI増減台数 ($\beta = 5.84$ 、 $p < 0.05$)、医師増減人数 ($\beta = 1.43$ 、 $p < 0.01$)、看護師増減人数 ($\beta = 0.26$ 、 $p < 0.01$)、病床数 ($\beta = -0.08$ 、 $p < 0.01$)、国公立病院 ($\beta = -6.30$ 、 $p < 0.01$)、人口密度の変化 ($\beta = -0.08$ 、 $p < 0.01$) であった（調整済み決定係数 = 0.07）。有意になった変数の中で、MRI増減台数、医師増減人数、看護師増減人数の偏回帰係数は正であり、これらの増加が外科系外来患者数の増加と関連していた。一方、病床数、国公立病院、人口密度の変化の偏回帰係数は負であった。

以上、本論文は、中規模病院における医療設備や医療スタッフ数の充実と外来患者数の増加は関連することを明らかにした。本研究は我が国の従来の研究とは異なり、外来患者を対象にして、医療設備や医療スタッフ数の変化と外来患者数の変化について分析し、さらに、全数調査である「医療施設調査」及び「病院報告」を用いて解析しており、外来患者の受療行動の解明に重要な貢献をなすと考えられ、学位の授与に値するものと考えられる。